

実務経験のある教員等による授業科目名	実務経験のある教員等による授業科目の授業時数	講師名	職種	知識や実務経験を活かした教育内容
助産学概論	30	大石 有香 倉本 孝子	助産師	助産師としての知識と実務経験を活かして、助産師の役割や助産とは何かという自己の助産観を明らかにするための教育を行う。
助産学研究	30	高 知恵 伊藤多恵子	助産師	助産師としての知識と実務経験を活かして、自らの助産ケアを考察し、助産学を探究する姿勢を身につけるための教育を行う。
生命倫理学	15	春藤 望	助産師	助産師としての知識と実務経験を活かして、性と生殖にかかわる助産師の専門性と役割から、倫理的判断を行うための基礎知識・技術、求められる姿勢を理解するための教育を行う。
女性の健康科学	20	城 道久 四本 由郁 村越 誉 上田美智子	医師 管理栄養士	医師としての知識と実務経験を活かして、女性のリプロダクションにおける身体の構造と機能、生殖に関連した健康問題について理解するための教育を行う。 医師としての知識と実務経験を活かして、周産期の遺伝医療の基礎から、出生前診断に関わる倫理的課題について理解するための教育を行う。 管理栄養士としての知識と実務経験を活かして、栄養に関する基礎知識と健康教育の視点を理解するための教育を行う。
妊娠・分娩・産褥の生理と病態	30	岡田 十三 魚川 礼子	医師	医師としての知識と実務経験を活かして、妊娠・分娩・産褥の生理とおこりうる異常を理解し、妊産婦の心身および胎児の健康状態をアセスメントができる基礎知識を習得のために教育を行う。
新生児・乳幼児の生理と病態	20	四本 由郁 津川 二郎	医師	医師としての知識と実務経験を活かして、新生児・乳幼児の適応生理とおこりうる異常を理解し、新生児・乳幼児の健康状態をアセスメントができる基礎知識を習得のために教育を行う。
助産師基礎力の形成	15	大石 有香	助産師	助産師としての知識と実務経験を活かして、助産師として目指す姿を明らかにし、「倫理的観応力」「マタニティケア能力」「ウイメンズヘルスケア能力」「専門的自律能力」をあわせもった、自己の助産師としてのアイデンティティを創造するための教育を行う。
助産診断技術学総論	45	武田 麻美 伊藤多恵子 勝間 洋江	助産師	助産師としての知識と実務経験を活かして、助産診断の基礎および、妊娠経過から分娩、産褥経過を予測し予防的観点から日常生活上のセルフケア能力を促す継続的支援に向けた助産過程の展開プロセスを理解するための教育を行う。また、助産診断・助産技術に必要なフィジカルアセスメント技術と安全・安楽なケア技術の基礎知識、および基本技術を習得する教育を行う。
助産診断技術学Ⅰ	30	伊藤多恵子 橋本 真理	助産師	助産師としての知識と実務経験を活かして、妊婦と家族の健康状態、日常生活をアセスメント・助産診断し、妊婦のセルフケア能力向上と出産育児準備・親役割獲得に向けたケアができる基礎的能力を養うための教育を行う。
助産診断技術学Ⅱ	30	武田 麻美	助産師	助産師としての知識と実務経験を活かして、分娩開始、分娩経過、健康状態、分娩予測をアセスメント・助産診断し、分娩進行に伴う産婦と家族のケアができるよう基礎的能力を養うための教育を行う。
助産診断技術学Ⅲ	20	伊藤多恵子	助産師	助産師としての知識と実務経験を活かして、産褥・新生児の健康状態、日常生活をアセスメント・助産診断し、健康生活に向けたケアができる基礎的能力を養うための教育を行う。
助産診断技術学Ⅳ	20	菅家由紀子 福岡 泰教 宇留島有希	助産師 医師 理学療法士	助産師・医師・理学療法士としての知識と実務経験を活かして、妊娠分娩産褥期の助産実践に必要な基本技術とその根拠を理解し、手技を習得するための教育を行う。
助産診断技術演習	30	橋本 恭子 下雅意智子	助産師	助産師としての知識と実務経験を活かして、安全な分娩助産技術および出生直後の新生児が胎外生活に適応できるためのケア技術を学び、自立して実践できる基本技術を習得するための教育を行う。
周産期ハイリスクケア論	30	濱田恵美子 井上 裕美 起塚 庸	助産師 看護師 医師	助産師・看護師・医師としての知識と実務経験を活かして、周産期におけるハイリスク状態の母子と家族をアセスメントし、重症化予防の視点からの支援とその実際を理解するための教育を行う。
ウイメンズヘルスケア論	20	野間 裕子 久世 宏美 岩城 晶文	助産師 薬剤師	助産師・薬剤師としての知識と実務経験を活かして、リプロダティブ・ヘルス/ライツの視点から女性の生涯にわたる健康課題に向き合い、女性とその家族を継続的に支援する基礎知識を理解するための教育を行う。

リプロダクティブケア論	40	大石 有香 橋本 恭子 城 道久 岩城 晶文	助産師 医師 薬剤師	助産師・医師・薬剤師としての知識と実務経験を活かして、リプロダクティブ・ヘルス/ライツの理念に基づく家族計画の意義、基礎知識を理解し、家族計画の実現に向けた受胎調節指導の基本技術を習得するための教育を行う。
健康教育論	15	大石 有香	助産師	助産師としての知識と実務経験を活かして、妊産婦とその家族、ライフサイクル各期の対象への健康教育の実践に必要な理論や原理、教育技術の基礎を理解するための教育を行う。
健康教育技術	30	武田 麻美	助産師	助産師としての知識と実務経験を活かして、妊産婦とその家族、ライフサイクル各期の対象への個人、集団の特徴に応じた教育実践へ向けた、健康教育の基本技術を習得するための教育を行う。
地域母子保健	15	伊藤 雅子	助産師	助産師としての知識と実務経験を活かして、多様な背景をもつ妊産婦や母子のニーズに対応した母子保健サービスの提供を中心として、多職種と連携・協働しながら地域で学齢期から子育て世代を包括的に支援する基本知識を理解するための教育を行う。
地域助産ケア論	45	橋本 恭子 伊藤多恵子	助産師	助産師としての知識と実務経験を活かして、女性・子ども・家族のライフステージの健康問題に対応したプレコンセプションケア、マタニティサイクルケアの基本を学び、地域であらゆる対象が健康な生活を送るケア・健康教育実践プロセスを習得するための教育を行う。
助産管理学	15	大石 有香 江口さやか 橋本 真理	助産師	助産師としての知識と実務経験を活かして、助産管理の概念に基づいた助産業務管理の特性と過程、および業務の場に応じた管理の実践からチーム医療での役割と基本姿勢を理解する教育を行う。
周産期リスクマネジメント	15	橋本 恭子 江口さやか	助産師	助産師としての知識と実務経験を活かして、周産期医療の質と安全を保障するためのシステムおよびチーム医療における助産師の役割を理解し、リスクマネジメントの実践から周産期の医療安全のあり方を考察する教育を行う。